

授業科目名	海外留学セミナー (Seminar on Overseas Study)	担当教員	講師 John A. Telloyan
開講年次・学期	医学科1-6年、看護学科1-4年・後期	必修/選択	自由
開講形態	演習	時間数/単位数	医学科20時間・看護学科0.5単位
学習目標			
<p>This course is designed as a practical overview of culture and intercultural communication. The teacher will attempt to link theory, research, practice and experience with specific activities to help the students develop cultural awareness. Students will also study and use basic powerpoint skills to create short group presentations to introduce Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.</p> <p>本授業では、海外研修や留学に必要となる語学演習を行うとともに、異文化の理解に関する理解を深めます。また日本や島根の文化、大学、日本の医療制度を英語で紹介するプレゼンテーションの演習を行います。(海外研修A参加者は必修)。</p> <p>*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。</p>			
ディプロマポリシーとの関連			
<p><医学科> 4. 医療に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。 12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。</p> <p><看護学科> 1. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、人間、健康、社会・文化に対する深い理解と見識に基づいた看護を提供することができる。 6. 社会における保健・医療・福祉の充実と発展に貢献するために、広い国際的視野をもつことができる。</p>			
学修成果(到達目標)			
<p>Speaking: Advanced practice of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills. Culture: Improved self-awareness as well as deeper cultural awareness. Technology: work with basic powerpoint techniques.</p>			
キーワード			
英語コミュニケーションスキル、専門(医学・看護)英語			
授業の進め方			
<p>The goal of this class is to help the students improve their cultural awareness as well as to improve their listening and speaking skills. We will use listening exercises specifically geared toward travel English under the broader TOEIC theme. We will also go over a few basic powerpoint techniques to help students prepare brief presentations to introduce various topics about Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.</p>			
評価方法			
<p>Attitude: 10% Exam (presentation): 90%</p>			
合否基準			
総合点100点とし、60点以上を合格とする。			
教科書・参考書			
教材は授業中に配布			
オフィスアワー			
eクリニックのオフィスアワー時			
コア・カリとの関連			
<p><医学科> A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-7-2) 国際医療への貢献 ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ②地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ③保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ④日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p> <p><看護学科> A-4-1) コミュニケーションと支援における相互の関係性 ①看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを理解できる。 ②人々との相互関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。 ③自分の傾向がわかり、自分の課題を意識しながらコミュニケーションをとることができる。 A-7-3) 国際社会・多様な文化における看護職の役割 ①国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。 ②多様な文化背景をもつ人々の生活の支援に必要な能力を理解できる。 ③国際社会における健康課題と戦略を理解し、今後の看護職に求められる役割や責任について考察できる。</p>			